

平成27年3月期 決算説明会 データブック

平成27年5月28日
シダックス株式会社
(JASDAQ スタンドアード : 4837)

平成27年3月期 決算トピックス

I. 連結経営成績 [短信 サマリー及び【添付資料】2～3ページ記載]

わが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和を背景に、景気は緩やかな回復基調にあるものの、円安による原材料価格の高騰や消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動等により個人消費が低調に推移するなど、景気の先行きは不透明な状況にあり、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような環境のもと、当社グループは、“フードサービスから公共サービスまで提供可能な水平垂直統合型の企業構造”で他社との差別化を図り、プレミアムブランド戦略による高品質・高付加価値のサービスを提供するとともに、より一層の「安心・安全」な管理体制の強化、グループ総合力を活かしたトータルアウトソーシングによる営業拡大に努めてまいりました。

■ 平成27年3月期 連結業績ハイライト

(単位:百万円)

	平成26年3月期				平成27年3月期				平成27年3月期			
	第2四半期累計(実績)		通期(実績)		第2四半期累計(実績)		通期(実績)		前期比		通期(計画)	
		構成比		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率	期初予想	差額
売上高	94,273	100.0%	191,583	100.0%	91,419	100.0%	174,461	100.0%	△ 17,121	△8.9%	177,000	△ 2,538
売上原価	83,150	88.2%	167,988	87.7%	81,120	88.7%	153,330	87.9%	△ 14,658	△8.7%	—	—
売上総利益	11,122	11.8%	23,594	12.3%	10,299	11.3%	21,131	12.1%	△ 2,463	△10.4%	—	—
販売費及び一般管理費	10,117	10.7%	20,651	10.8%	10,240	11.2%	20,483	11.7%	△ 167	△0.8%	—	—
営業利益	1,005	1.1%	2,943	1.5%	58	0.1%	647	0.4%	△ 2,295	△78.0%	3,800	△ 3,152
営業外収益	322	0.3%	1,148	0.6%	316	0.3%	641	0.4%	△ 507	△44.2%	—	—
営業外費用	619	0.7%	1,247	0.7%	573	0.6%	1,086	0.6%	△ 160	△12.9%	—	—
経常利益	707	0.8%	2,844	1.5%	△ 197	△0.2%	202	0.1%	△ 2,642	△92.9%	3,300	△ 3,097
特別利益	195	0.2%	404	0.2%	5,618	6.1%	5,870	3.4%	5,465	1351.2%	—	—
特別損失	4	0.0%	1,218	0.6%	58	0.1%	1,669	1.0%	450	36.9%	—	—
当期純利益	40	0.0%	521	0.3%	3,733	4.1%	255	0.1%	△ 266	△51.0%	5,500	△ 5,244
総資産	103,220	—	100,101	—	97,848	—	92,338	—	△ 7,762	—	—	—
純資産	24,651	—	25,206	—	27,933	—	26,133	—	926	—	—	—
自己資本	24,515	—	24,962	—	27,933	—	26,133	—	1,170	—	—	—
自己資本比率	23.8%	—	24.9%	—	28.5%	—	28.3%	—	3.4%	—	—	—
ROE(自己資本当期利益率)	0.2%	—	2.1%	—	14.1%	—	1.0%	—	△1.1%	—	—	—
ROA(総資産経常利益率)	0.7%	—	2.9%	—	△0.2%	—	0.2%	—	△2.7%	—	—	—

(注)【ROE】=四半期(当期)純利益/自己資本合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)、【ROA】=経常利益/総資産合計(当年度(第2四半期)末・前年度末の平均値)×100(%)

【売上高】1,744.6億円(期初予想対比△1.4%)

□ レストランカラオケ事業・・・個人消費が消費増税の影響により落ち込み、節約志向が高まり、低価格競争も激化しており、競合他社はもとより業種を超えた競争の激化など、事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況の中、様々なキャンペーン企画等による既存店舗の集客に取り組んだものの、不採算店舗の整理及び既存店お客様来店数が前期比93%程度での推移となり、期初予想を下回る。

【営業利益】6.4億円(期初予想対比△82.9%)

【経常利益】2.0億円(期初予想対比△93.9%)

レストランカラオケ事業において材料費・労務費の適正化に努めたものの、売上高の減少を補うまでには至らず。また、新規事業であるフィットネスクラブ事業及びビューティーケア事業における先行投資コスト回収の遅れ、トータルアウトソーシング事業における施設管理・運営業務の初期投資コストの影響による利益率の減少並びに車両運行管理業務の契約単価下落の影響があったことにより、期初予想を下回る。

【当期純利益】2.5億円(期初予想対比△95.4%)

□ 主に当社連結子会社において、繰延税金資産の回収可能性について検討を行った結果、繰延税金資産を一部取り崩したことにより、期初予想を下回る。

II. セグメント別業績の増減説明

[短信【添付資料】2～3ページ及び20～23ページ記載]

■ セグメント別業績

(単位:百万円)

売上高	26年3月期	27年3月期	増減額	増減率
エスロジックス事業	44,524	41,910	△ 2,614	△5.9%
コントラクトフードサービス事業	30,890	31,499	609	2.0%
メディカルフードサービス事業	36,319	35,736	△ 583	△1.6%
レストランカラオケ事業	41,854	36,884	△ 4,969	△11.9%
スペシャリティールレストラン事業	24,108	9,729	△ 14,379	△59.6%
コンビニエンス中食事業	14,792	14,732	△ 60	△0.4%
トータルアウトソーシング事業	38,357	39,483	1,125	2.9%
その他	6,477	7,949	1,472	22.7%
消去及び全社	△ 45,741	△ 43,463	2,278	5.0%
売上高 計	191,583	174,461	△ 17,121	△8.9%

(単位:百万円)

セグメント利益	26年3月期	利益率	27年3月期	利益率	増減額	増減率
エスロジックス事業	3,619	8.1%	3,340	8.0%	△ 278	△7.7%
コントラクトフードサービス事業	1,663	5.4%	1,434	4.6%	△ 228	△13.8%
メディカルフードサービス事業	1,074	3.0%	1,066	3.0%	△ 8	△0.7%
レストランカラオケ事業	1,137	2.7%	1,506	4.1%	369	32.5%
スペシャリティールレストラン事業	507	2.1%	△ 354	△3.6%	△ 861	△169.7%
コンビニエンス中食事業	415	2.8%	293	2.0%	△ 122	△29.4%
トータルアウトソーシング事業	1,787	4.7%	1,365	3.5%	△ 421	△23.6%
その他	△ 743	△11.5%	△ 722	△9.1%	21	2.8%
消去及び全社≒HQコスト	△ 6,518	—	△ 7,283	—	△ 765	△11.7%
営業利益	2,943	1.5%	647	0.4%	△ 2,295	△78.0%

□ エスロジックス事業は、主にグループ会社からの新規店工事受注の減少等により、セグメント利益は33.4億円(前期比7.7%減)となりました。

□ コントラクトフードサービス事業は、新規受託施設の増加並びに既存店における食事提供数の増加により売上高は増加したものの、原材料の高騰等の影響により、売上高は314.9億円(前期比2.0%増)、セグメント利益は14.3億円(前期比13.8%減)となりました。

□ メディカルフードサービス事業は、受託先企業の契約内容の見直しの影響による売上高の減少があったものの、原価管理の徹底化に努めた結果、売上高は357.3億円(前期比1.6%減)、セグメント利益は10.6億円(前期比0.7%減)となりました。

□ レストランカラオケ事業は、様々なキャンペーン企画等による既存店舗の集客に取り組んでまいりましたが、既存店お客様来店数が前期比93%程度での推移となったことにより、売上高は368.8億円(前期比11.9%減)となりました。利益面においては、不採算店舗の整理及び材料費・労務費の適正化に努めたことで、セグメント利益は15.0億円(前期比32.5%増)となりました。

□ スペシャリティールレストラン事業は、主に平成26年5月10日にRestaurant Hospitality, LLCの持分の一部を売却したことで、Restaurant Hospitality, LLC及びその100%連結子会社Patina Restaurant Group, LLC 他事業子会社等17社が連結子会社より除外された影響により、売上高は97.2億円(前期比59.6%減)、セグメント損失は3.5億円(前期セグメント利益5.0億)となりました。

□ コンビニエンス中食事業は、病院施設などの経営環境が厳しい中、閉鎖や解約等による利用者数の減少から既存店の売上高が減少し、加えて収益店の閉鎖や解約により利益率が減少したことにより、売上高は147.3億円(前期比0.4%減)、セグメント利益は2.9億円(前期比29.4%減)となりました。

□ トータルアウトソーシング事業は、車両運行管理業務においては地方自治体の財政縮減や民間企業のコスト削減等による契約単価下落の影響があったものの、社会サービス業務において地方公共団体から幅広く指定管理者として施設管理・運営を受託した結果、売上高は394.8億円(前期比2.9%増)となりました。しかしながら利益面においては、初期投資コストの影響により利益率が減少したことにより、セグメント利益は13.6億円(前期比23.6%減)となりました。

Ⅲ. 連結貸借対照表の増減説明

[短信【添付資料】6ページ及び12～13ページ記載]

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	26年3月期	27年3月期	増減額
現金及び預金	11,043	11,146	103
売上債権	13,060	12,856	△ 203
その他流動資産	7,735	7,289	△ 445
有形固定資産	35,434	29,840	△ 5,594
のれん	9,278	7,861	△ 1,416
敷金及び保証金	8,750	8,120	△ 630
その他固定資産・投資等	14,798	15,224	425
資産計	100,101	92,338	△ 7,762

(単位:百万円)

	26年3月期	27年3月期	増減額
仕入債務	8,575	7,718	△ 857
借入金・社債(短期・長期)	37,002	32,136	△ 4,866
リース債務(短期・長期)	4,877	4,655	△ 222
資産除去債務	3,207	3,005	△ 201
その他負債	21,231	18,690	△ 2,540
負債計	74,894	66,205	△ 8,688
純資産	25,206	26,133	926
自己資本比率	24.9%	28.3%	3.4%

□ 総資産は、前期末に比べ77.6億円減少し923.3億円(前期末比7.8%減)となりました。

主に、Restaurant Hospitality, LLCの持分の一部を譲渡しRestaurant Hospitality, LLC及びその100%連結子会社Patina Restaurant Group, LLC 他事業子会社等17社が連結子会社から除外されたことにより、売上債権が2.0億円、その他流動資産が4.4億円、有形固定資産が55.9億円、のれんが14.1億円減少し、その他固定資産・投資等が4.2億円増加したことによります。

□ 負債は、前期末に比べ86.8億円減少し662.0億円(前期末比11.6%減)となりました。

主に、借入金・社債が48.6億円減少し、また、Restaurant Hospitality, LLCの持分の一部を譲渡しRestaurant Hospitality, LLC及びその100%連結子会社Patina Restaurant Group, LLC 他事業子会社等17社が連結子会社から除外されたことにより、仕入債務が8.5億円、その他負債が25.4億円減少したことによります。

□ 純資産は、前期末に比べ9.2億円増加し261.3億円(前期末比3.7%増)となりました。

当期純利益2.5億円の計上と剰余金の配当5.8億円により利益剰余金が3.2億円、少数株主持分が2.4億円減少した一方、為替相場の変動により為替換算調整勘定が13.9億円、その他有価証券評価差額金が1.0億円増加したことによります。

以上の結果、当期末における自己資本比率は、前期末に比べ3.4ポイント上昇し、28.3%となりました。

IV. 連結キャッシュ・フロー計算書の増減及び財政状態の説明

[短信 サマリー及び【添付資料】6～8ページ、18～19ページ記載]

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	26年3月期	27年3月期	増減額
営業活動キャッシュ・フロー	7,333	5,668	△ 1,665
投資活動キャッシュ・フロー	△ 9,724	600	10,324
財務活動キャッシュ・フロー	1,232	△ 7,274	△ 8,506
換算差額	180	566	386
現金・同等物期末残高	10,810	10,371	△ 439

□ 営業活動の結果得られた資金は56.6億円(前期は73.3億円の資金獲得)となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益が44.0億円計上されたほか、関係会社株式売却益が54.2億円、法人税等の支払額が17.5億円並びに未収入金の増加額が4.5億円あった一方、減価償却費が55.4億円、減損損失が16.0億円、のれん償却額及び負ののれん償却額が6.6億円、並びに未払消費税等の増加額が13.2億円あったことによります。

□ 投資活動の結果得られた資金は6.0億円(前期は97.2億円の資金使用)となりました。

これは主に、定期預金及び拘束性預金の預入による支出が38.7億円、有形固定資産の取得による支出が35.6億円、無形固定資産の取得による支出が3.7億円並びに資産除去債務の履行による支出が1.2億円あった一方、連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入が36.9億円、定期預金及び拘束性預金の払戻による収入が34.5億円、有形固定資産の売却による収入が8.2億円並びに敷金及び保証金の回収による収入が6.9億円あったことによります。

□ 財務活動の結果使用した資金は72.7億円(前期は12.3億円の資金獲得)となりました。

これは主に、長期借入れによる収入が84.8億円あった一方、リース債務の返済による支出が23.1億円、長期借入金の返済による支出が116.6億円、社債の償還による支出が7.6億円、配当金の支払額が5.8億円並びに割賦債務の返済による支出が3.5億円あったことによります。

以上の結果、当期末における「現金及び現金同等物」は、前期末に比べ4.3億円減少し103.7億円(前期末比4.1%減)となりました。

■ キャッシュ・フロー指標の推移

	25年3月期	26年3月期	27年3月期
自己資本比率(%)	26.7	24.9	28.3
時価ベースの自己資本比率(%)	21.0	19.3	22.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	380.9	591.4	668.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	11.5	7.0	6.2

■ 有利子負債等残高の推移

(単位:百万円)

	25年3月期	26年3月期	27年3月期	増減額
借入金・社債	31,361	37,002	32,136	△ 4,866
リース債務	5,257	4,877	4,655	△ 222
割賦未払金	—	1,486	1,106	△ 379
未経過リース料期末残高相当額(注)	1,427	849	552	△ 296
合計	39,911	44,215	38,450	△ 5,765

(注) 不動産リース取引は除く

V. 平成28年3月期の通期連結業績予想

[短信 サマリー 及び【添付資料】4～5ページ記載]

■ 次期の見通し

当社グループは、「食」を中心とした水平垂直統合型グループ構造の推進により経営効率化を図り、「食」のフィールド拡大と車両運行管理から社会サービスなど様々な業務の受託拡大を図るため、営業体制の強化を行うとともに、事業を通じて社会をより良いものにする「ソーシャル・ウェルネス・カンパニー」の実現のため環境・食料・地域の問題に対しても積極的に取り組んでまいります。

次期連結業績予想は、売上高1,670億円、営業利益25億円、経常利益17億円、親会社株主に帰属する当期純利益6億円を見込んでおります。

(単位:百万円)

	27年3月期 実績	28年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	174,461	167,000	△ 7,461	△4.3%
営業利益	647	2,500	1,852	285.8%
経常利益	202	1,780	1,577	777.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	255	600	344	134.8%

VI. セグメント別店舗数推移表

25年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトウ外	増加	47	25	1	3	1	2	8	40	4	4	2	5	3	6	64
	減少	1	4	3	5	5	10	12	39	1	1	2	4	1	36	84
	残	1,346	1,367	1,365	1,363	1,359	1,351	1,347	1,347	1,350	1,353	1,353	1,354	1,356	1,326	1,326
メディカル	増加	1	32	6	5	6	4	0	53	19	3	1	0	4	4	84
	減少	47	2	4	0	1	1	8	16	6	7	1	4	1	41	76
	残	779	809	811	816	821	824	816	816	829	825	825	821	824	787	787
レストランカラオケ	増加		0	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3
	減少		0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
	残	301	301	302	301	301	301	301	301	301	303	303	303	302	302	302
車両 管理台数	増加		204	20	20	38	18	24	324	19	17	17	43	10	22	452
	減少		234	21	18	34	10	19	336	20	27	20	17	9	13	442
	残	3,586	3,556	3,555	3,557	3,561	3,569	3,574	3,574	3,573	3,563	3,560	3,586	3,587	3,596	3,596
社会 管理人員	増加		1,370	47	24	64	200	46	1,751	70	24	39	4	91	46	2,025
	減少		831	37	38	22	19	47	994	29	12	16	22	19	13	1,105
	残	6,968	7,507	7,517	7,503	7,545	7,726	7,725	7,725	7,766	7,778	7,801	7,783	7,855	7,888	7,888
コンビニエンス中食	残	389			395				398			402			398	

26年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトウ外	増加	1	19	4	11	6	5	6	51	3	2	2	2	1	8	69
	減少		7	6	5	2	2	3	25	2	1	7	1	6	19	61
	残	1,327	1,339	1,337	1,343	1,347	1,350	1,353	1,353	1,354	1,355	1,350	1,351	1,346	1,335	1,335
メディカル	増加		34	4	4	6	2	3	53	5	1	14	1	2	3	79
	減少	1	5	4	4	2	5	2	22	3	2	2	0	5	28	62
	残	786	815	815	815	819	816	817	817	819	818	830	831	828	803	803
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
	減少		0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	4
	残	302	302	302	302	302	302	301	301	301	302	302	299	300	300	300
車両 管理台数	増加		180	30	20	26	16	25	297	19	16	15	11	13	17	388
	減少		177	27	25	19	14	20	282	27	9	9	11	14	21	373
	残	3,596	3,599	3,602	3,597	3,604	3,606	3,611	3,611	3,603	3,610	3,616	3,616	3,615	3,611	3,611
社会 管理人員	増加		1,111	37	37	52	166	98	1,501	8	6	35	47	34	45	1,676
	減少		881	145	22	48	41	55	1,192	31	15	15	65	2	8	1,328
	残	7,888	8,118	8,010	8,025	8,029	8,154	8,197	8,197	8,174	8,165	8,185	8,167	8,199	8,236	8,236
コンビニエンス中食	残	398			393				390			391			382	

27年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトウ外	増加		24	6	5	2	3	5	45	8	2	1	2	2	2	62
	減少		9	5	4	3	3	4	28	4	6	7	2	6	37	90
	残	1,335	1,350	1,351	1,352	1,351	1,351	1,352	1,352	1,356	1,352	1,346	1,346	1,342	1,307	1,307
メディカル	増加		28	5	7	3	4	2	49	3	5	5			5	67
	減少		2	7	3	3	4	4	23	2	6	3	4		35	73
	残	803	829	827	831	831	831	829	829	830	829	831	827	827	797	797
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	減少		0	1	1	15	0	1	18	0	2	0	1	0	0	21
	残	300	300	299	298	283	283	282	282	282	280	280	279	279	279	279
車両 管理台数	増加		165	30	30	27	10	22	284	27	29	11	15	13	21	400
	減少		178	21	17	20	18	7	261	32	15	33	5	11	43	400
	残	3,611	3,598	3,607	3,620	3,627	3,619	3,634	3,634	3,629	3,643	3,621	3,631	3,633	3,611	3,611
社会 管理人員	増加		1,046	30	27	13	99	130	1,345	51	70	6	22	20	60	1,574
	減少		472	85	37	195	117	57	963	15	16	13	47	19	57	1,130
	残	8,236	8,810	8,755	8,745	8,563	8,545	8,618	8,618	8,654	8,708	8,701	8,676	8,677	8,680	8,680
コンビニエンス中食	残	382			388				383			387			368	

VII. レストランカラオケ事業 月次売上・客数推移

25年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		3,572,283	3,609,291	3,596,864	3,675,231	4,195,466	3,607,434	22,256,568	3,168,636	3,185,633	5,554,985	4,115,444	3,028,296	3,933,531	45,243,094
客数(千人)		2,359	2,456	2,406	2,483	2,812	2,494	15,010	2,201	2,109	2,919	2,598	2,093	2,664	29,594

26年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		3,327,982	3,443,424	3,325,607	3,245,695	4,133,066	3,172,854	20,648,627	2,850,786	3,089,328	5,245,137	3,901,592	2,547,623	3,571,110	41,854,204
客数(千人)		2,279	2,388	2,315	2,383	2,766	2,205	14,334	1,991	1,982	2,698	2,411	1,776	2,383	27,575

27年3月期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)		2,997,480	3,236,367	2,842,429	2,891,107	3,734,033	2,696,540	18,397,956	2,594,899	2,775,631	4,456,555	3,251,381	2,437,678	2,970,258	36,884,357
客数(千人)		2,045	2,198	2,040	2,128	2,570	1,967	12,946	1,798	1,845	2,315	2,039	1,712	2,050	24,706